

奇跡的な出会いに感謝…！



という説があります。

人生80年として、人が一生のうちに会える人の数は、

何らかの接点を持つ人	30,000人
同じ学校や職場、近所の人	3,000人
親しく会話を持つ人	300人
友人とよべる人	30人
親友とよべる人	3人

世界76億の人口に対して、これらの人物と出会う確率を求めると、

何らかの接点を持つ人	0.000003947368421 (およそ25万分の1)
同じ学校や職場、近所の人	0.000000394736842 (およそ250万分の1)
親しく会話を持つ人	0.000000039473684 (およそ2500万分の1)
友人とよべる人	0.000000003947368 (およそ2億5000万分の1)
親友とよべる人	0.000000000394736 (およそ25億分の1) となります。

統計学上、100万分の1以下は『起こらないもの』とされるそうです。皆さんが、同じ学校で同級生として出会う確率は、統計学上では、『起こらない』んです。この250万分の1という確率は、広い海にバラバラに分解した懐中時計のパーツを投げて、波の力だけで、時間をかけて元の懐中時計に組み立てられてしまう確率と同じだそうです。そんなことが、現実にありますでしょうか。だからこそ、みなさんの出会いは『奇跡的』なのです。

そんな奇跡的な出会いに、私も加わったこと、本当に幸せに思っています。たった1年でしたが、みなさんと一緒に過ごし、たくさんのパワーをもらいました。一緒に行った修学旅行、一緒に応援した体育祭、一緒に感動した文化祭、数学の授業、そして、休み時間にたくさんおしゃべりしたこと、どれも大切な思い出です。ありがとう！

一期一会という言葉がありますが、これからの長い人生、みなさんはたくさんの人と出会うことと思います。どの出会いにも、何かしらの意味があるはず！これまでの『仲間』を、これから出会う『人』を大切にできる素敵な人になってください。

最後にみなさんへメッセージ (解けるかな?)

41 55 32 12 32 04 21 03 02
11 92 21 04 45 13 82
14 21 04 15 02 01 33 94 33 04
33 25 04 32 44 54 84

いつかどこかで、また会えることを願って…

今号から、毎日続けて学年通信を出していきます。それも、学年の先生＋校長先生が1人ずつ順に。それぞれの先生が各自の趣味趣向を全面に出しつつ(?)、卒業生のみなさんにそれぞれ想いの詰まったメッセージを届けます。

	1	2	3	4	5
1	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も
8	や	!	ゆ	☺	よ
9	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	ゝ	。